



発行責任者：歯学部長 宮崎 隆，編集責任者：広報委員長 佐藤裕二
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL 03-3784-8000
ホームページ：http://www.showa-u.ac.jp

創刊の挨拶

学部長 宮崎 隆



早いもので歯学部長に就任してから半年以上が経過しました。これまでホームページとメーリングリストを利用して情報提供に務めてきましたが、この度ミニ広報誌を発行することにしました。歯学部に関する情報を提供するとともに、関係者の皆様からのご意見を頂戴したいと考えています。

現在進行中および計画中の歯学部事業計画は以下のとおりです。

1. **新カリキュラムの完成と実施：** 今年度の1-2年生から新カリキュラムを実施中です。社会との関わりの中で学ぶ「社会と歯科医療コース」ほか新しいコースがスタートしました。問題発見解決型教育としてPBL・チュートリアルをトライアルで導入予定です。
2. **旗の台ファントム実習室の整備：** 来年度から4年生まで旗の台校舎で教育することになり、歯科理工学実習室を臨床系科目のファントム実習ができるよう到来年の3月末をめどに改修を行っています。引き続き、来年度の事業計画として、歯科病院の教育施設の改修を計画しています。
3. **歯科病院の診療科整備：** 患者にわかりやすく、そして地域社会に貢献できる歯科病院を目指して、臨床講座の再編とともに新しい診療科の整備を進めています。患者の口腔健康の維持を目的にした「お口の健康外来（仮称）」の早期開設を検討しています。
4. **国内外の大学との交換プログラムの推進：** ペンシルバニア大学（アメリカ）、大連医科大学（中国）と交換プログラムの調印をし、国外他大学とも交渉中です。国内では北海道医療大学、岩手医科大学、および福岡歯科大学を訪問し、将来の交流を検討中です。
5. **新しい歯科医学研究の推進：** 歯学部研究活動委員会を発足させ、研究者データベースの作成や学部重点研究の立案を検討中です。大学院を充実させるために、社会人コースや臨床歯学コースの新設を検討中です。
6. **学生の表彰制度の充実：** クラブ活動だけでなく、スチューデントクリニシャンプログラムほかの課外活動を積極的に奨励しています。表彰制度の選考方法の見直しとともに、新しい表彰を検討中です。

歯科病院長挨拶

歯科病院長 川和 忠治



平成15年4月より昭和大学歯科病院長を拝命いたしました。歯科病院の更なる発展に如何なる貢献が出来るかを考えると、改めてその任の重さを実感いたします。

歯科病院は患者さんの立場に立った医療を提供する場であると共に卒前臨床教育 卒後臨床研修の場でもあります。そのためには患者さんに分かり易い、患者さんが必要とする専門外来の体制を構築する必要があります。具体的には、次に挙げることを目指します。

1. 患者さんの立場に立った安心と満足感のある医療の提供
2. う蝕と歯周病を重視した医療の推進
3. 術後の管理を重視した医療の推進
4. 確実な知識と技術に基づく高水準の医療の提供
5. 地域医療機関との連携を深め地域の歯科保健と医療の向上に貢献
6. 教育病院として次世代を担う歯科医師の育成

卒前臨床教育、卒後臨床研修の体制を充実する必要があります。近々、歯科医師法第17条に関する違法性の阻却が可能となる見込みで、今後は臨床参加型臨床実習の推進が必須となってくることが考えられます。教育病院として卒前・卒後の臨床教育を充実させ、次世代を担う人間性豊かな質の高い医療人を育成することは極めて重要なことです。その一貫として、平成15年度から臨床研修医のご指導をしていただく客員教授の制度を導入しております。実現しなければならぬ問題が山積しておりますが、その責務を全うしたいと存じますので、皆様方のご理解とご支援をお願い申し上げます。



歯学部では体のしくみと病気を学びながら、体の一部としての口腔のしくみ、そこに生じる病気、そして病気の予防、診断と治療法を学びます。最近では高齢者をはじめ、心身に病いをもった患者さんが増加し、また口腔疾患と全身との関連性が解明されるにつれ、益々、医学のなかでの口腔科学という位置づけが鮮明になりつつあります。明日の歯科医師を養成する歯学部にはこうした状況に応じた教育内容の刷新が求められ、本歯学部もカリキュラムの改訂に着手しました。それに先立ち、歯学部の教育理念を次のようにしました（平成10年9月）。すなわち、

- 1) 歯科医療を地域・社会との関係において把握し、患者やその家族との信頼関係を重視しながら、チーム医療の一員として活躍できる社会性のある歯科医師、
- 2) 口腔領域の疾患を全身との関わりにおいて把握することのできる歯科医師、
- 3) 歯科医療に関する問題を正しく捉えて解決することができ、生涯にわたって学習し続ける習慣を身につけた歯科医師、こういう優れた歯科医師を育成するということです。

一方、これまでの医学・歯学教育の問題点として、過度な記憶教育、教育内容のばらつき、基礎と臨床の連携不足、臨床実習の不足、教員の教育能力不足などが指摘されております。

そして今後の目指すべき目標として、

- 1) 患者中心の医療を実践できる医療人の育成、
- 2) コミュニケーション能力の優れた医療人の育成、
- 3) 倫理的問題を真摯に受けとめ、適切に対処できる人材の育成、
- 4) 幅広く質の高い臨床能力を身につけた医療人の育成、
- 5) 問題発見・解決型の人材の育成、
- 6) 生涯にわたって学ぶ習慣を身につけ、根拠に立脚した医療を実践できる医療人の育成、
- 7) 世界をリードする生命科学研究者となりうる人材の養成、
- 8) 個人と地域・国際社会の健康増進と疾病の予防・根絶に寄与し、国際的な活動ができる人材の育成、

が挙げられています（「21世紀における医学・歯学教育の改善方法について」平成13年3月 医学・歯学教育のあり方に関する調査研究協力者会議報告）。こうした方向性は我々の考えと一致するものであり、また医学・歯学教育の改革を実行している世界の教育者に共通するものといえます。

本歯学部の新しいカリキュラムの特徴は以下の通りです。

- 1) 医学的素養を背景に口腔とその疾患を理解できるようにする、
- 2) 早期から実地での体験学習を通じて地域における保健・医療・福祉、病める人の心を理解し、さらに医療連携の重要性を理解する、
- 3) 6年間を通じて繰り返して学べるスパイラル構造をもつカリキュラムである、
- 4) 自ら進んで学習する習慣、コミュニケーション能力、さらに問題解決能力を育成するために、順次、チュートリアルによる問題基盤型学習（PBL）を導入する、
- 5) 歯科診療ではチュートリアルによる診療参加型として実践的・体験的学習を重視する、



チュートリアル教育風景

という内容です。この新たなカリキュラムを実行するには幾多の困難が待ち受けております。学内外のご理解なくして、それらを乗り越えることはできません。今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

歯学部学生部長挨拶

歯学部学生部長 立川 哲彦



本年4月に歯学部学生部長を拝命いたしました。昭和大学は医系総合大学としての医療人の育成を目的としていますので、昭和大学学生部長ならびに薬学部学生部長 吉田武美教授、医学部学生部長 諸星利男教授、保健医療学部 坂井 泰教授、教養部 伊藤良作教授と共に協力してこの重責を果たしていく所存でございます。

学生部長の役割は大学入学から卒業まで充実した学生生活が送れるようにバックアップしていくことが挙げられます。そのためには学生との対話を積極的に行い、学生の立場にたった問題解決を推し進めることが重要であると考えています。しかしながら、近年の大学生は自己管理意欲が少なくなり、とく易きに流れがちになっています。これはひいては教育の場での知識の吸収をも妨げる結果となり、将来歯科医師として患者に接するときの態度にまで影響を及ぼす結果となりかねません。歯学部としては歯科医師になるための知識を教育するばかりではなく、歯科医師としての態度教育にも非常に力をいれています。この態度教育は医学の知識を勉強で得るようなものでなく、日ごろの学生生活の積み重ねとして、歯科医師の態度が成り立つものと考えます。そのために時として厳しい生活指導をすることもあるかと存じますが、実りある学生生活を送れ、患者様にとってより良い医療人に育成できればと考えています。ご父兄各位のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

大学院歯学研究科入試情報 歯学研究科運営委員長 長谷川 紘司



期 平成16年2月14日(土) (期:9月27日は終了)

募集人員 若干名(出身大学を問わず、熱意のある大学院生を募集します)

出願期間 平成15年12月 1日(月)～平成16年1月28日(水)

合格発表 平成16年 2月19日(木)正午

説明会 平成15年12月24日(水)16:25～

詳細については、昭和大学ホームページをご覧ください、教務部(03-3784-8022)まで。

臨床研修医募集

副院長 久光 久

出身大学を問わず、臨床に対する熱意のある臨床研修医を募集します。

説明会 平成15年12月24日(水) 16:45～

出願締切 平成16年 2月23日(月)

選考日 平成16年 3月 3日(水)

研修開始 平成16年 4月 1日(木) 予定

詳細については、昭和大学歯科病院ホームページ <http://www.senzoku.showa-u.ac.jp>をご覧ください、管理課事務室(03-3787-1151 代表)まで。



歯学部入試情報

試験	募集人員	出願期間	試験日	合格発表
推薦	30名	H15.11. 4 - 11.12	H15.11.16	H15.11.19
センター	3名	H16. 1. 5 - 1.22	H16. 1.17,18, H16. 1.29	H16. 2. 5
選抜 期	55名	H16. 1. 5 - 1.22	H16. 1.29	H16. 1.31
選抜 期	8名	H16. 2.16 - 3. 2	H16. 3. 7	H16. 3. 8
編入	若干名	H15.11. 4 - 11.12	H15.11.16	H15.11.19



詳細については、昭和大学ホームページをご覧ください、入試係(03-3784-8022)まで。

総合司会：久光久教授のもと、約40名の参加者が来られ、下記の内容で行われました。

- 1 健(すこ)やか親子はお口の健康から： 佐々龍二 (小児歯科学教授)
- 2 良い入れ歯でばけ防止： 芝 燁彦 (有床義歯学教授)
- 3 入れ歯ができるまで： 鍛冶田忠彦 (昭和大学歯科病院歯科技工士)

第8回歯学教育者のためのワークショップ開催

8月21 - 23日 三島の東レ総合研修センター

50名の参加者で開催されました。今回はPBL(問題基盤型学習)をテーマにしたアドバンスコースとして、医学教育の中でPBLを先駆的に実施している岐阜大学から、高橋優三教授をお迎えし、3日間にわたってご指導を頂きました。PBLは、先頃開催された文部科学省の医学教育ワークショップの中心テーマでもあり、歯学部を含めて多くの大学ですでに導入済みか導入検討中です。本学部においても、2ページの岡野教育委員長の文章にもありますように、新カリキュラムへの導入が試みられようとしています。

なお、このワークショップの報告書は、内容にふさわしくCD-ROMとして刊行しました。ご入用の方は、歯学部広報委員会宛ご請求下さい。



報道された歯学部

- ・ 「患者が決めたいい病院ランキング(9万人アンケート)」で当歯科病院が一般の病院を含めた全1502病院中22位に選ばれました。これからもますます患者さま中心の病院を目指して職員一同努力致します。
<http://www.oricon-medical.jp>
- ・ 川和忠治病院長 NHKラジオ出演：くらしの電話相談，14:00-15:00(7/28, 9/1, 10/27, 12/2, 1/27)
- ・ 久光 久教授(保存修復) 時事通信社取材・全国各紙に配信(6/22)，ホワイトニングについて
- ・ 南雲正男教授(第二口腔外科) 週刊現代(11/29) 名医の健康パドック「唾石症」
- ・ 佐藤裕二教授(高齢者歯科) 日本テレビ ご存じですか/歯の健康，12/16 11:25-30(予定)
- ・ 松本光吉教授(歯内療法) BS-i 健康DNA 虫歯の無痛治療，12/28 10:00-11:00(予定)



行事予定

- 平成15年12月12日(金)：歯科病院ボーリング大会
- 平成15年12月13日(土)：昭和大学歯学会
- 平成15年12月24日(水)16:25：大学院・研修医説明会
- 平成16年 1月17,18日(土、日)：大学入試センター試験
- 平成16年 1月29日(木)：選抜 期入試
- 平成16年 2月24日(土)：大学院歯学研究科入試
- 平成16年 3月 3日(水)：卒業式
- 平成16年 3月 7日(木)：選抜 期入試
- 平成16年 3月17,18日(水、木)：歯科医師国家試験



次号は1月発行予定です。